
Translation of the claim of JP54-168912 U

A cold-protection ear cover to be fitted around ears, formed by:
overlying, on a back face of a circular or elliptical raised fabric 1, a front fabric 2 of the same circular shape;
further overlying a circular raised fabric 5 thereon, with a raised surface of the raised fabric 5 downward, the raised fabric 5 having a hole 3 formed at the center of the raised fabric 5 for fitting the cover around an ear, the hole perimeter being whipstitched with a stretch string 4;
sewing a perimeter portion 6 of the overlaid fabrics by whipstitching;
repeating the above steps to obtain two overlaid circular objects forming one pair;
turning the overlaid circular objects inside out and inserting a cylindrical frame core 7 into each of the overlaid circular objects to obtain two frames 8, 8' for fitting the cover around the ears; and
connecting the two frames 8, 8' at both right and left ends thereof, using stretch strings 9, 9'.



実用新案登録願 (¥4000)

昭和53年5月17日

特許庁長官 熊谷善二殿

1. 考案の名称

ボウカンヨウミミカ
防寒用耳掛けカバー

2. 考案者

住所

実用新案登録出願人と同じ

氏名

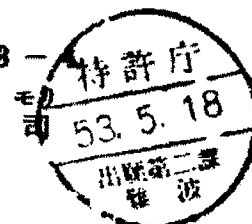
3. 実用新案登録出願人

住所

ナカムラク サコウチョウ
名古屋市中村区栄生町3-1

氏名

マエ カワ クニ
前 川 晋



4. 代理人

住所

名古屋市中区大須四丁目15番59号

前津ビル3階

電話<052>241-2856

氏名

井堀士(6425) 高嶋精一



5. 添附書類の目録

- | | | |
|---------|----|----|
| (1) 願書 | 副本 | 1通 |
| (2) 明細書 | | 1通 |
| (3) 図面 | | 3通 |
| (4) 委任状 | | 1通 |

53 066098

54-168912

明 細 書

1. 考案の名称

防寒用耳掛けカバー

2. 実用新案登録請求の範囲

^{又は棒状の}
円形の起毛生地 1 の裏側面に同じ円形の表生地 2 を重合せしめ、且つこの上より中央に耳掛け穴 3 をあけ、その穴 3 の周縁に伸縮紐 4 をかがり縫いした円形の起毛生地 5 の起毛面を下に向けて重合し、その重合周縁部 6 をかがり縫いにて縫着し、次にこの 2 個を 1 組となして作成した後、この重合円形物を裏返してその内部に筒型棒芯 7 を差込み、この 2 個の耳掛け棒 8、8' をその左右の両端にて伸縮紐 9、9' にて連結せしめてなる防寒用耳掛けカバー。

3. 考案の詳細な説明

本考案は耳掛けカバーの内部にて耳の当る部分に柔かい毛羽を掻出した起毛生地を使用し、耳袋となる内部には筒型棒芯を差込んで耳にゆとりをもっておおうようになし、通気性のある編物又は織物を表生地として使用し、保温性に富んで暖かく、且つ音の伝わりも良く、防寒用としてスキー、スケート、自転車、オートバイ等の寒風の吹きさらしに対し寒さから保護し、音も聞える様に工夫してなる防寒用耳掛けカバーの考案に関するものである。

今、本案の防寒用耳掛けカバーについて、その形状及び構造並びに目的作用効果を図面によりこれを具体的に説明すると、次の通りである。

この考案は図面に示す如く、耳カバー 8、8' を伸縮紐 9、9' で連結した防寒用耳掛けカバー（第 1 図）の裏側面の耳掛け穴 3（第 2 図）を内側となし、これで両耳をかぶせておおい、伸縮紐 9' を頭の後方に、少し長目の伸縮紐 9 を頭の額にかけて両耳に取付けて使用するものである。

次にこの防寒用耳掛けカバーの形状及び構造をなす詳細に記述すれば、次の通りである。

先づ、^{Xは精円形}円形の起毛生地 1 の裏側面に同じ円形の表生地 2 を重合せしめ（第 3 図、第 4 図）、且つこの上より中央に耳掛け穴 3 をあけ、その穴 3 の周縁にゴム紐の如き伸縮紐 4 をかがり縫いした円形の起毛生地 5（第 5 図）の起毛面を下に向けて重合し、その両者の生地（第 3 図と第 5 図）の重合周縁部 6 を第 6 図及び第 7 図に示す如く、かがり縫いして縫着する。

次に、この 2 個を左右一組（第 3 図、第 5 図）となして作成した後、この重合円形物を第 7 図に示す矢印の方向に裏返し、その内部に耳掛け穴 3 より筒型棒芯 7（第 8 図）を差込み、この 2 個の耳掛け棒 8、8' をその左右の両端にてゴム紐の如き伸縮紐 9、9' にて連結せしめ防寒用耳掛けカバー（第 1 図、第 2 図）とするものである。

本案の防寒用耳掛けカバー（第 1 図、第 2 図）の使用法は、耳カバーの裏側面（第 2 図）の耳掛け穴に両耳を差込み、これを伸縮紐で頭にしっかりと吊るして支える。耳は耳掛けカバー内の起毛生地の柔かく暖かい起毛の毛羽に触れて外気の寒風に触れずに暖かく耳を寒さから効果的に防



ぐことが出来るものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本案の防寒用耳掛けカバーの正面図、第2図はその背面図、第3図は耳カバーの表側生地、第4図はその側面図、第5図は耳カバーの裏側生地、第6図は耳掛けカバーの裏側面図、第7図はその側面図、第8図は筒型棒芯の斜視図、第9図は耳掛けカバーの縦断側面図、である。

図中、1は円形の起毛生地、2は円形の表生地、3は筒型棒芯、4は伸縮紐、5は円形の起毛生地、6は重合周縁部、7は筒型棒芯、8、8'は耳掛け枠、9、9'は伸縮紐、である。

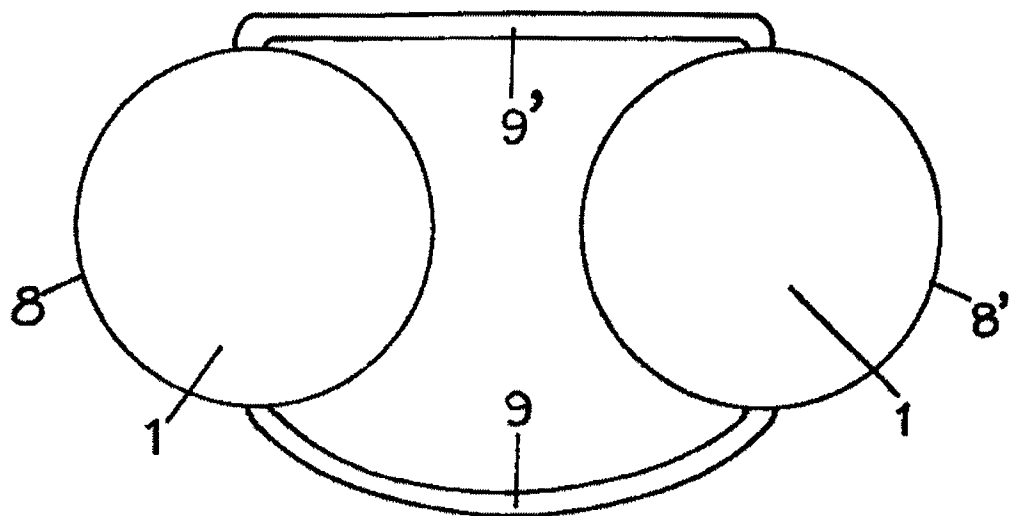


出願人 前 川 晋 司

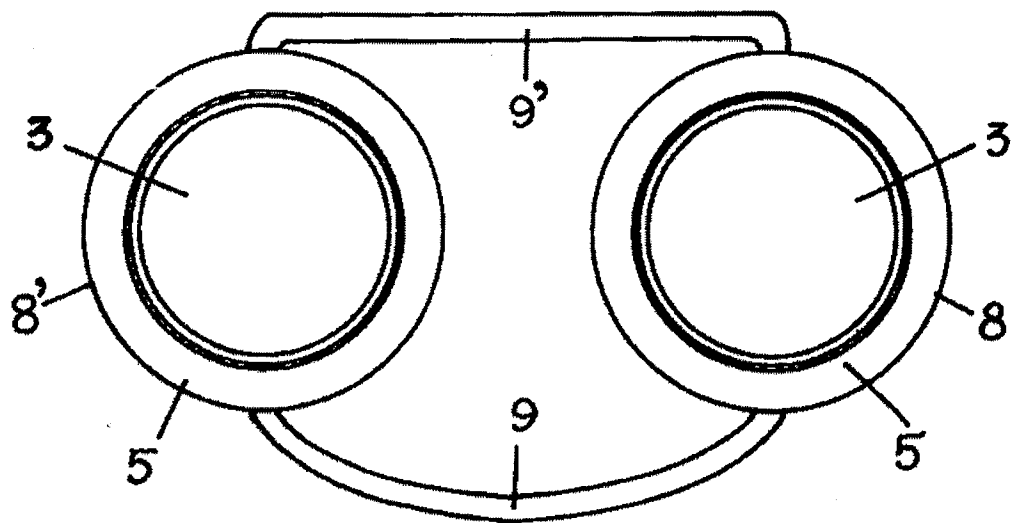
代理人 弁理士 高 嶋 精 一



第1図



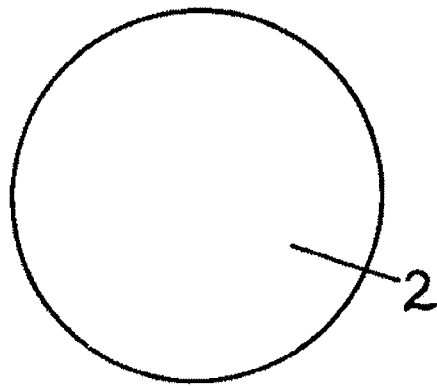
第2図



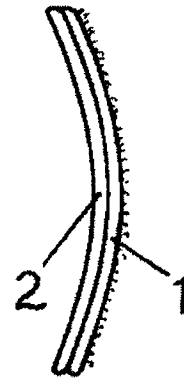
16891 2/3

出願人 代理人 弁理士 前川晋司 高嶋精一

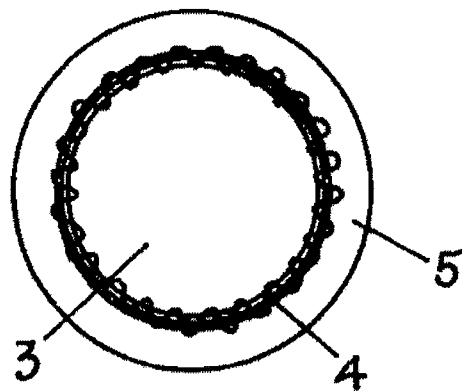
第3圖



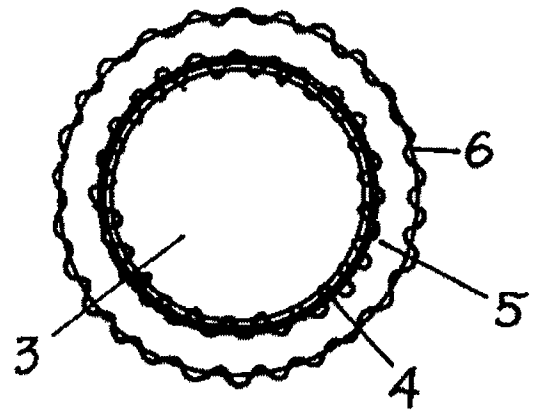
第4圖



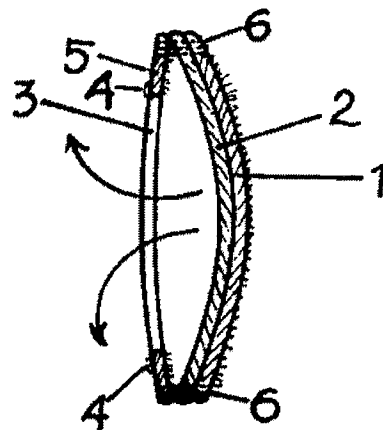
第5圖



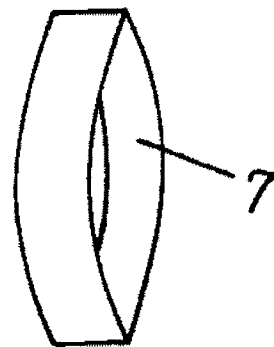
第6圖



第7圖



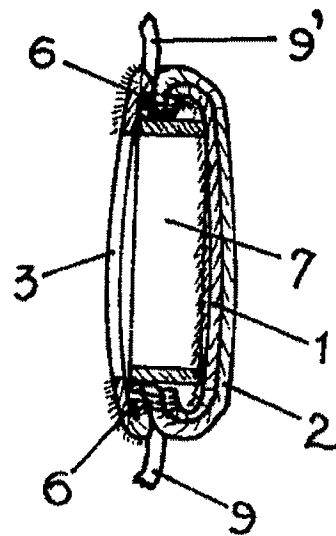
第8圖



2/3
出願人
代理人 弁理士

前川晋司
高嶋精一

第9図



3912 $\frac{3}{3}$

代理人 井理士
出代 願理人

司馬晉以
精嶋高

